



日盲連発第10号  
平成25年4月16日

厚生労働省社会・援護局  
障害保健福祉部 企画課  
自立支援振興室長 殿

社会福祉法人 日本盲人会連合  
会長 竹下 義 樹



平成25年度「視覚障害者移動支援従事者資質向上研修」の開催について

平成25年度における当該研修については、別紙のとおり「平成25年度『視覚障害者移動支援従事者資質向上研修』開催要項」を定め実施することといたしました。視覚障害者移動支援従事者等の養成に関わる講師等の研修としても位置づけた内容として、開催いたします。

つきましては、各都道府県に対して周知していただくとともに、積極的な参加を促していただきますようお願いいたします。

## 平成25年度「視覚障害者移動支援従事者資質向上研修」開催要項

### (趣 旨)

第1条 視覚障害者の移動に関する指導者を養成し、視覚障害者の移動（同行援護及び移動支援事業）に従事する者の技術向上を図ることをその趣旨とする。

### (名 称)

第2条 本事業の名称を「視覚障害者移動支援従事者資質向上研修」（以下、「研修」という。）と称する。

### (目 的)

第3条 視覚障害者の移動に際し、安全かつ快適にガイドヘルプする為の知識・技術、並びに移動時及び移動先における、情報提供やコミュニケーション（代筆代読を含む）の知識・技術を習得させるための指導者の養成を目的とする。

### (主 催)

第4条 研修の主催は、社会福祉法人日本盲人会連合・同行援護事業所等連絡会（以下、「主催者」という。）とする。

### (対 象 者)

第5条 研修の対象者は、別添2の通りとする。

### (研修方法)

第6条 各研修カリキュラムは、別添3の通りとする。

### (期 間)

第7条 研修は、別添1の研修日程のとおり実施する。

### (場 所)

第8条 各研修は、別添1の研修日程で定める開催地を予定し、会場については受講決定者に通知する。

### (定 員)

第9条 各研修の定員は、原則として20名を上限とする。ただし、6名を下回るときは中止とする。

### (受 講 料)

第10条 研修の受講料は20,000円とする。

2 受講料には、実習費・テキスト代・保険料を含むものとする。

3 受講料は、受講決定通知に記載した口座に、受講者が納入期日までに振り込むものとする。

( 修了認定 )

第 1 1 条 研修の全日程を修了した者には「修了証」を、修了者のうち指導者レベルに達したと主催者が認める者については「認定証」を、社会福祉法人日本盲人会連合会長名で発行する。

( 応募方法 )

第 1 2 条 応募方法については、都道府県を通じて申し込むものとする。

2 申込書に必要事項を記入の上、電子メールにて日本盲人会連合団体事務局に申し込む。

( 申込み先 )

第 1 3 条 受付先は、電子メールアドレス「jim@jfb.jp」とする。

2 電子メールの題名は「都道府県名：資質向上研修申し込み」とする。

( 申込締切日 )

第 1 4 条 別添 1 の研修日程で定める申込締切日とする。

( 受講決定 )

第 1 5 条 申込が行われた場合、実施要項に照らして受講決定し、都道府県及び受講者に通知する。

2 定員に満たない場合、申込者に通知を行う

3 前項の場合は、都道府県担当者にも通知を行うものとする。

( 傷害保険 )

第 1 6 条 主催者は、受講者の安全を考慮し、傷害保険に加入する。

( その他 )

第 1 7 条 その他、研修の実施にあたり必要な事項は、別途定める。

( 問い合わせ )

第 1 8 条 研修に関する担当事務局は次の通りとする。

( 1 ) 日本盲人会連合団体事務局

( 2 ) 電話：03-3200-0011

( 3 ) 電子メールアドレス：jim@jfb.jp

( 4 ) 担当責任者：有泉（ありいずみ）

別添1

平成25年度「視覚障害者移動支援従事者資質向上研修」日程

平成25年4月2日現在

日程		場所	申込締切日 (都道府県→日官連)	備 考
1期	9月19日(木)～9月22日(日)	京都府京都市	8月9日(金)	
2期	10月6日(日)～10月9日(水)	広島県広島市	8月30日(金)	
3期	10月15日(火)～10月18日(金)	宮城県仙台市	8月30日(金)	
4期	11月3日(日)～11月6日(水)	福岡県福岡市	9月30日(月)	
5期	12月2日(月)～12月5日(木)	東京都新宿区	10月31日(木)	
6期	12月16日(月)～12月19日(木)	愛知県豊橋市	10月31日(木)	

## 別添 2

平成 25 年度「視覚障害者移動支援従事者資質向上研修」の対象者の要件

研修に参加し、認定を受けようとする者は、次の条件を満たす者とする。

### 1 基本的要件

- (1) 研修期間の全日程を受講できる者
- (2) 研修会の終了後、地域において講師として活動できる者

### 2 実技分野の認定を受けようとする者は、次の条件に該当する者とする。

- (1) 次に掲げる項目のいずれかに該当している者
  - ①視覚障害者の外出支援に関わる者の養成に携わる者
  - ②視覚障害者歩行訓練士
  - ③平成 15 年 4 月以降で、視覚障害者ガイドヘルパーの資格を有する者（実務経験 1 年以上）
- (2) 実技研修において、1 日 8 k m 程度の歩行に耐えうる体力を有する者
- (3) 階段、砂利道などで一定の速度以上で歩ける者
- (4) 概ね年齢が 65 歳未満の者
- (5) 視覚に障害のない者

## 別添 3

カリキュラム	教科名	内 容	時間
移動支援事業・同行援護について	視覚障害者の外出保障について	視覚障害者の外出保障について、当事者団体の取り組み、制度や環境様々な観点から学ぶ	1時間
	移動支援事業・同行援護について	制度の理念、現在の動向、制度上問題点や課題などについて学ぶ	1時間
	緊急時対応について	さまざまなシチュエーションでの危機管理対応を学ぶ	1時間
移動支援・同行援護従事者養成研修について	養成研修開催の方法	養成研修開催に際し、研修科目のポイントをふまえた講師・補助員選定、会場選び、研修スケジュールの組み方などを学ぶ	1時間
	同行援護養成研修 講義カリキュラムポイント解説①	講義のカリキュラムについて、研修で触れるべきポイントについて学ぶ	2時間
	同行援護養成研修 講義カリキュラムポイント解説②	応用研修にある講義2科目について、グループで検討しながら講義の内容を深める	1時間
障害疾病の理解	様々な利用者についての支援のあり方	高齢、聴覚障害・知的障害、精神障害の特性、児童について支援のあり方を学ぶ	1時間
障害者福祉の制度とサービス	補装具・日常生活用具について	様々な用具の紹介、効果的な使用方法などを学ぶ	1時間
	視覚障害者に関する法令	個人情報保護法、虐待防止法、差別禁止法、道路交通法など、同行援護を実施する上で関係のある法令について学ぶ	1時間
見えにくさの理解	見えにくさの理解	見えない・見えにくいことを受講生に理解させるための有効なプログラムについて学ぶ	1時間
	ロービジョン体験	シミュレーションメガネを作成・使用し、実際に見えにくい環境を体験することを通して受講生に学んでほしいポイントを考える	2時間
代筆・代読の基礎知識	代筆・代読について	様々な書類の意味を理解し、養成研修を実施する上で有効なポイント、練習方法を学ぶ。	1時間
基本・応用技能	手引き方法の指導ポイント及び効果的な指導方法について	実際に指導場面を再現しながら、手引き方法についての指導のポイントを確認すると共に、実技が習得しにくい受講生へのアプローチの仕方や、受講生の到達点の見極め、カバー方法などを学ぶ	4時間
	ルート設定の仕方	実技で実際に歩く為のルート設定の方法についてフィールドワークを通して学ぶ。	4時間
場面別基本・応用技能	さまざまな利用者に対する援助方法	歩行器、盲導犬利用者など、様々なガイドヘルパー利用者の援助方法についての指導方法を学ぶ	1時間
	さまざまな場面における援助方法	買物、通院、催しなど、実際の外出場面での援助方法について、養成研修で効果的なプログラムのあり方を学ぶ	1時間
	情報交換会	同行援護における地域の実情についての情報交換を行う	1時間
			25時間

平成25年4月16日

## 平成25年度「視覚障害者移動支援従事者資質向上研修」の開催について

平成25年度「視覚障害者移動支援従事者資質向上研修」開催要項第17条において別途定めることとされている研修の実施に必要な事項については、下記の通りとしますので、各都道府県におかれては、内容をご確認の上、参加者登録の手続き等をお願いいたします。

### 記

#### 1. 参加者登録票の提出

別紙1の「参加者登録票」に参加者を記載の上、申込締切日までに日本盲人会連合へ提出して下さい。

※申込締切日については開催要項の別添1参照。

#### 2. 参加者登録の流れ

①厚生労働省より都道府県宛に開催案内等の送付

②都道府県から管内市区町村、事業所（同行援護・移動支援従事者養成研修実施事業所、同行援護・移動支援事業所など）及び視覚障害者団体に参加者推薦依頼

③管内市区町村、事業所及び視覚障害者団体から都道府県に申込み

④都道府県が参加者のとりまとめ

⑤都道府県から、直接、日本盲人会連合に電子メールで別紙1「参加者登録票」を提出

※電子メールの表題は、「都道府県名：資質向上研修申し込み」と明記して下さい。

⑥日本盲人会連合より、確定通知を都道府県に電子メールで送信し、受講者には直接送付

#### 3. 受講料

受講料 20,000円

\*受講料には、実習費、テキスト代、保険料を含むものとします。

\*振り込みは、受講決定通知書に明記する口座に、受講生が直接振り込むものとします。

#### 4. 研修会場

各地域の研修会場の詳細は決定通知とともに受講者に送付します。

5. 終了後の「修了証」等の発行等について

- (1) 全日程修了者に、社会福祉法人日本盲人会連合会長名で「修了証」を発行します。
- (2) 修了者の内、主催者が認めるものについては、社会福祉法人日本盲人会連合会長名で「認定証」を発行します。
- (3) 都道府県に対しては、「修了報告書」を電子メールで送付します。

※ 厚生労働省では、研修修了者を「同行援護従事者養成研修（一般・応用）課程に相当するもの」として認めることは差し支えないこととされています。